**生徒視点で見る危険箇所と要望のアンケートのとりくみについて**

**石川支部：七尾市立中島中学校**

**事務主査　田畑三恵子**

**【背景と目標】**

この実践は、１６年前に地域の先輩から「こどもアンケート」について教えていただき、以来ずっと実践しています。最初は小学校で実践していましたが、その後中学校勤務になった後も実践は続けています。新しい学校に異動になる度（特に郡市異動の時）、やるのにとても勇気がいるな（もともとの性格と皆さんの理解がえられるか）と思いながら取り組んでいます。幸い、自分の勤務した学校は予算に恵まれている学校が多かったので出てきた要望はわりと実現できました。自分の要望がかなえられた時の児童生徒の反応がうれしくて続けられています。自分にとっては、校内で生徒児童と話すことはあっても、仕事として公式に生徒と繋がれる唯一の機会であるととらえています。事務職員から発信していくことにより、学校にいる存在意義があるのではないかと感じています。また、法令改正によって事務をつかさどるになり、より積極的に学校運営に関わっていく、一つのツールだとも感じています。

今の学校は、3年目勤務、全校生徒100人の小規模校です。

目標設定と実践した動機や、実践前の状況・背景など、実践を始めるに至ったきっかけについて具体的に記載してください。

≪例≫

背景(学校の児童生徒数、教職員数、経験年数、学校教育目標等、学校の方針)、実践前の状況、当時の課題等

実践状況の写真や図表があると、内容がとても分かりやすく伝わります。

※個人が特定できる写真は避けてください。掲載する場合は、必ず本人の了解を得てください。

※写真等に表題を付けてください。

**【協働・取組】**

　ざっとした流れは、のちに資料を付けますが、アンケート（昨年フォームズを使おうかなとも思いましたが）、手書きがよいと思ったことがあったので、あえて手書きで書いてもらっています。アンケート後、まずは集計結果を職員会議に提示します。次に生徒に文書にして返します。生徒に返すのは、修繕後、解決後、予算要求にあげる準備が整ってから行っています。以前、事務職員の方で、「予算がなくてできなかったら困るし自分はしない。」と言っている人もいましたが、小さな事でも改善していければいいと思っています。毎年していて、今回は何も無いかなと思っていても、意外に毎年何かしら出てきます。

　修繕個所が出てくることが多いので、私がすることも多いのですが、校務員さんにお世話になることもあります。テニスボールの加工など

　アンケートには、わかりにくいかと思い回答の例を書いているのですが、それがそのままになってしまって反省することもあります。また、回答はすべての事柄についてできないこともあります。

【生徒から出てきた具体的な内容と改善】

※改善点は⇒（やじるし）から後部分

〇手すりのグラグラをなおしてほしい

〇水道の自動を手動にしてほしい

〇机のささくれで制服に引っ掛かりがある⇒天板の取り換え

〇机椅子の音がうるさい⇒テニスボールの取り付け（テニスボールの加工は校務員・養護教諭・事務職員※前任校では、他の教諭も一緒にした。）

〇生徒玄関の下駄箱の距離が近すぎて、においが臭い⇒生徒玄関の間を離す修繕工事とひばを削ったものをお茶パックにいれた物を、ズックに入れるようにした。（お茶ﾊﾟｯｸに入れるのは校務員、近所の木工所からいただいたひばをお茶ﾊﾟｯｸに入れた。全生徒に配布。）

〇手すりがぐらぐら⇒回答できず

〇体育館トイレが臭い⇒床の排水のところに水をためることを生徒に教えた（過去に業者さんから教わりました）その後は目をさすようなアンモニア臭がまったく匂わなくなった。

**【成果と課題】**

　昨年度は保護者アンケートの中で、保護者の方から以下のようにお言葉をいただきました。『生徒にアンケートをとってくださり、すぐに対応してくださりありがとうございます』

また、保護者の中で、この結果をみてくださってだと思いますが、（予算的に無理でがまんしてくださいと書いた）冷水機の寄付もありました。

前任校が、難聴クラスの生徒がいたのですべてのクラスでテニスボールをつけていました。本校にきたら職員室と教室が近いせいもあり、音がうるさく、新任の先生もグループワークをするたびに音がうるさくて頭痛がするといっていたのを覚えています。椅子につけると机につけてほしいという要望もあり、その助長になってしまったかと思いましたがこの春休みに職員全員で机にもつけました。

過去の学校では、最初は生徒にアンケートをとることに不安がっていた管理職も実施後は「このアンケートは良い、年にもう一回とったらどうや」と言ってくださった人もいました。あと校内ルールで職員間のルールがずれていて確認することのきっかけもあります。また、過去には当時の管理職から~~（もしかして試されていたのかもしれませんが）「~~全校集会で説明してください」と言われて税金のことと絡めて話をしたこともあります。この学校ではプールの更衣室に換気扇がなくてアンケートに書かれていたことを予算要求で町に出して、予算がついたこともあります。

アンケートをして、要望がかなえられる事によって児童生徒の自己有用感が高まっていくと思います。

日本人は自己有用感が低いと言われます。

生徒の自己有用感を高めるためにも今後とも続けていきたいと考えています。

課題としては、先に書いたように異動するたび、職員の理解を得る事が大変であること、予算が厳しい学校でいかに要望を叶えていくかということがあげられます。また、自分が異動した後も、アンケートが継続していけるかということもあります。

実践の成果と課題について、具体的に記載してください。

≪例≫

どのような効果があったか。客観的な評価やアンケートなど。何が達成できて、何が達成できなかったか。達成度はどれぐらいで、達成できた理由は何か。また、達成できなかった理由は何か。周囲の職員の反応はどうであったか。関係者の評価や自身のうれしかったことや悲しかったことは何か。この取組は自分にとってどのような成長の機会となったか。　など

※校長や共同学校事務室等リーダーからの感想があると良い。

**【教訓】**

児童生徒だからわかることもあります。、児童生徒の回答に、気付かされることもたくさんあります。たまに、アンケートへの返しに困るものもありますが、大人にはない発想のすばらしさに笑ってしまいます。

児童生徒とのコミュニケーションツールであるこの実践は、今後も続けていこうと思っています。

実践の成果や課題を踏まえて、得た教訓。今後の取組の方向性や展望、次年度に取り組みたいことについて記載してください。

≪例≫

連携をはかる相手や取組をすすめる上で必要な情報や手立ては何か。　など